



\*\*\*\*\*

## 12/19 2年 音楽「小ぎつね」

♪ 指使いとタンギングに挑戦! ♪

2年生の音楽では、鍵盤ハーモニカを使って「小ぎつね」の演奏に取り組んでいます。今回の授業の目あては、「正しい指使いで演奏しよう」。右手の親指を「1」、人差し指を「2」…と番号をつけて、音に合わせた指使いを覚えながら演奏します。

曲の冒頭「ドレミファソ」は「1 2 3 4 5 5」と、指を順に動かして演奏しますが、同じ音を続けて鳴らすときには、鍵盤を押し直すのではなく、舌を使った「タンギング」で表現するのが鍵盤ハーモニカの特徴です。何度も練習を重ねて、少しずつ感覚をつかんでいきました。



中盤の「ラファドラソ」は、右手をスライドさせてラを「3」の指で演奏し、「3 1 5 3 2」という指使いになります。ここがまた難しく、子どもたちは集中して何度も練習。教師からアドバイスを受けながら、がんばっていました。

授業の最後には、「四分休符を忘れないようにしたい」「難しく正しい指使いでできないところがあった」など、子どもたち自身が振り返りを発表。自分の課題を見つけ、次につなげようとする姿が印象的でした。

冬休みには鍵盤ハーモニカを持ち帰り、「小ぎつね」の練習を続ける予定です。正しい指使いとタンギングに気をつけながら、楽しく演奏できるよう、応援しています！

\*\*\*\*\*

## 12/19 水槽の魚に名前がつきました

🐟 ウグイってどんな魚? 🐟

保健環境委員会の活動として、水槽で飼育している魚に名前がつけられました。子どもたちが考えた名前は「スイちゃん」「さらちゃん」「スーちゃん」「かなちゃん」と、親しみやすく、個性あふれるものばかり。水槽の前には、魚の名前カードとともに、手描きのイラストも並び、にぎやかなコーナーになっています。さらに、「ウグイ」という魚についての解説もあり、分類や生態、食べ物、産卵の様子などがわかりやすく紹介されています。ウグイはコイ科の魚で、日本全国の川や湖に広く分布しており、この地にも生息している身近な魚です。

「ウグイってこんな魚なんだ!」「この前、川で見た!」と、子どもたちが地域の自然に目を向けるきっかけにもなっているようです。保健環境委員会の工夫によって、魚への関心が高まり、命を大切にする気持ちや、地域の自然への理解が深まる素敵な取り組みとなっています。

